

令和8年度埼玉県介護職員就業定着支援事業業務委託に係る
企画提案の質問に対する回答

No.	質問項目	質問内容	回答
1	仕様書 3(1) 事業の周知	ホームページ等により随時情報提供を行う。とありますが、ホームページは既存のものを更新していくのか、新たに定着支援事業のホームページを制作するのをご教示ください。	事業の周知方法について指定はありませんので、効果的と考える方法を御提案ください。
2	仕様書 3(3) 新任介護職員の指導・育成を担う職員を対象とした研修の実施	管理者、中堅職員向けの研修は対面、オンライン等実施方法の指定はありますか。	研修の実施方法について指定はありませんので、効果的と考える方法を御提案ください。
3	その他	これまで行ってきた、研修内容、実施方法、参加人数をご教示ください。	<p>【令和7年度】※参加人数は確定前</p> <p>○介護技術・交流会(集合形式、132名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護技術研修(ボディメカニクス) 介助/移乗の基礎(ボディメカニクス)、介護技術の応用方法、困りごと事例の解決策 ・食事介助研修 食事時間とお口の関係、高齢者の嚥下機能と栄養、食事の準備と姿勢、ベッド上や車いす等での姿勢調整、食事介助方法 ・介護職員向け接遇マナー研修 介護における接遇マナーとは?、接遇の五原則、ロールプレイを通して考える気持ちの良い接し方 ・認知症基礎知識理解研修 認知症の方と家族の気持ち、認知症の方へ接し方の大切さ、認知症ケアのポイントとは <p>○メンタルヘルス(ハイブリッド形式、48名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション研修 コミュニケーションミスがおこる原因とは?、介護現場で使える「報連相」とは?、コミュニケーションタイプ別診断チェック、タイプ別でみる効果的なコミュニケーション術 利用者様との信頼関係を深める、心に寄り添う関わり方、職員間の誤解やストレスを減らすコミュニケーション、外国人スタッフへの「伝わらない!」解消のポイント ・レジリエンス思考術研修 レジリエンスとは?、あなたのレジリエンス度診断チェック、落ち込みから抜け出す手法とは? - 事実と解釈を区別する -、レジリエンスを鍛えるための質問集 <p>○ハラスメント(ハイブリッド形式、15名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメント ハラスメント・カスハラの基本知識、カスハラへの取り組みと対応方法、「些細な不信感」を生まない良質なコミュニケーション方法 <p>○キャリアデザイン(集合形式、15名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアデザイン研修・座談会 これまでの人生と”介護”との出会いを振り返ろう、仕事観・大切にしていることを考える、介護職としての今後のキャリアをみつめよう、介護の魅力PR隊との座談会 <p>○育成・指導を担う職員向け研修(オンライン及び集合形式、64名)</p> <ul style="list-style-type: none"> スタッフの状況に合わせた育成指導基盤、指導現場で役立つティーチング・コーチング・承認スキル、行動変容を促す具体的なアプローチ、面談の目的と進め方、目標設定の方法